



ハッピー通信48号



すずき歯科では「8020」ではなく「8028」（全ての歯を残す）を目標に皆様とマンツーマンでサポートさせていただきます！



歯周病予防のための

小腸ケア大研究！！

なぜ小腸をケアすると歯周病改善につながるの！？
そもそもなぜ小腸のケア！？

活性化された小腸内の免疫細胞が

1 お口の中で
トラブル発生！

歯ぐきの中で歯周病菌が増えると、歯肉周辺の免疫細胞たちが戦い始めます。この戦っている状態が、腫れ・出血といった症状に。「どこかで異常が起きていないか」と体内をパトロールしている免疫細胞はこの緊急事態を感知し、小腸へ信号を送ります。



2 小腸内の`免疫細胞`たちが
SOS をキャッチ！

SOS を受け取るのは小腸に住む免疫細胞。小腸は臓器の中でも重要な役割を担っているため、鍛えられた強者たちが集まっています。口腔内の異常事態を知り、助けに行く準備を始めます。



3 リンパ節を通して
先鋭たちが口腔内へ出動

パトロール隊から要請を受けた小腸内の免疫細胞たちは、リンパ節を通りながら口腔内へと出動。もともと歯肉周辺にいた免疫細胞と一緒に、歯周病菌と戦い始めます。



小腸内の`免疫細胞`が強ければ強いほど、

歯周病菌に抵抗できる力は大きくなる。

だからこそ、小腸から考える歯周病予防が大切なのです！

忘年会 & ...

あけましておめでとうございます(◡_◡)ノ

今年も皆様にとってよい1年でありますように♡

さて、昨年 12/28 は仕事納め&忘年会！！でした～！毎年恒例のボーリング大会からの食事です♥♥(o→ε←o)♪ 因みにボーリングは景品がかかっているのので皆な真剣です！



そして今回は衛生士、坂本の妊娠祝いも兼ねていました♡
元気な赤ちゃんを生んで顔を見せに来てくれるのを楽しみにしています(●'艸`)

フロスをしないと何が起きる！？

「Floss or Die(フロスしますか、それとも死にますか)」これはアメリカのメディアが国民に向けて発したメッセージ。歯周病が全身の健康にも悪影響を与えることが分かり、

「フロスが必要だ！」

と叫ばれたのです。

歯周病は、こんな病気の原因に。

- 狭心症・心筋梗塞
- 脳卒中
- 早産・低体重児出産
- 糖尿病



他にもいっぱいあります。アメリカでは、冒頭の強烈なメッセージのおかげでたくさんの方がフロスを使い始めました。日本ではまだまだのようですが…。

あいうべ体操で

インフルエンザ予防！

'17-'18年の冬は昨年比べてインフルエンザ患者が多いそうですね！
予防接種も大事ですが、お家や学校、職場でも簡単に予防する方法がありますよ！

それが「あいうべ体操」です！！口呼吸をやめる為のトレーニングで、それによって口腔内から直接体内にウイルスが入るのを防ぎます。小顔効果もありますよー^^

「あいうべ体操」のやり方

